

正誤表

該当箇所	誤	正
1 頁 表1. 1. 1	Hitachi SR11000/ <u>J1K</u>	Hitachi SR11000/ <u>K1</u>
2 頁 表1. 2. 1 全球解析における第一推定値（3 箇所）	解析時刻の3時間前を初期値とする予報値	解析時刻の6時間前を初期値とする予報値
9 頁 左段 4 行目	(余田 <u>2006</u>)	(余田 <u>2005</u>)
9 頁 左段 28 行目	余田成男, <u>2006</u>	余田成男, <u>2005</u>
9 頁 左段 29 行目	<u>天気, 53, (投稿予定)</u>	<u>日本気象学会 2005 年秋季大会シンポジウム要旨集, 27-32.</u>
14 頁 左段 19 行目	Saito et al.(<u>2005</u>)	Saito et al.(<u>2006</u>)
17 頁 右段48行目	Saito, K., T. Fujita, Y. Yamada, J. Ishida, Y. Kumagai, K. Aranami, S. Ohmori, R. Nagasawa, S. Tanaka, C. Muroi, T. Kato and H. Eito, <u>2005</u> : The operational JMA Nonhydrostatic Mesoscale Model. Mon. Wea. Rev., <u>in press</u> .	Saito, K., T. Fujita, Y. Yamada, J. Ishida, Y. Kumagai, K. Aranami, S. Ohmori, R. Nagasawa, S. Tanaka, C. Muroi, T. Kato and H. Eito, <u>2006</u> : The operational JMA Nonhydrostatic Mesoscale Model. Mon. Wea. Rev., <u>134, 1257-1289.</u>
18 頁 右段 6 行目	(第3.1節(<u>8</u>))	(第 3.1 節(<u>7</u>))
60 頁 図 6.3.18	<p style="text-align: center;">風向適中率 (2005年2月)</p> <p style="text-align: center;">図6.3.18 最大風速ガイダンスの風向適中率。図の凡例は図6.3.14と同じ。</p>	<p style="text-align: center;">風向適中率 (2005年2月)</p> <p style="text-align: center;">図 6.3.18 最大風速ガイダンスの風向適中率。図の凡例は図 6.3.14 と同じ。</p>
74 頁 33 行目	<u>Global</u> Meteorological Satellite	<u>Geostationary</u> Meteorological Satellite
74 頁 47 行目	International Civil Aviation <u>Center</u>	International Civil Aviation <u>Organization</u>
77 頁 1 行目	付録B 統計検証で利用される代表的な指標	付録B 統計検証で利用される代表的な指標 本書で利用されている統計的検証の手法について、説明する。
77 頁 右段33行目 (B.5.2 空振り率)	空振り率は0から1の値をとり、0に近いほど空振りが少ないことを示す。	空振り率は0から1の値をとり、0に近いほど空振りが少ないことを示す。また、分母を FO+FX の代わりに N として定義する場合もある。
78 頁 左段 3 行目 (B.5.3 見逃し率)	見逃し率は0から1の値をとり、0に近いほど見逃しが少ないことを示す。	見逃し率は0から1の値をとり、0に近いほど見逃しが少ないことを示す。また、分母を FO+XO の代わりに N として定義する場合もある。